

カリキュラム

「ビジネス」「コミュニティ」「ライフ」をマネジメント3分野としたカリキュラム体系により、専門的な能力を養成します。

分野ごとのスクーリング授業を実施。テキスト学習で得た知識を現実のテーマに置き換え、対面形式で議論することによって立体的に学べます。学生一人ひとりの関心に基づき、各分野を越えて幅広く履修できる独自の教育カリキュラムです。

【基礎科目】と【専門科目】から分野を超えて自由に選択できます。

基礎科目
経営・会計・法律など、一般教養科目を学ぶことができます。それぞれの目的に合わせて自由に科目を選択できます。

専門科目
Market
ビジネスマネジメント 科目群
医療・福祉・環境分野におけるビジネス動向と企業・組織の原理と構造を把握し、社会に貢献する企業組織の知識と技術を学びます。

Community
コミュニティマネジメント 科目群
国内外の地域における医療・福祉・環境・経済の問題や仕組みについて理解を深め、コミュニティベースのマネジメントの知識と技術を学びます。

House hold
ライフマネジメント 科目群
生活上の支援を必要とする人々のニーズを的確に把握し、これに応えるための福祉のマネジメントの知識と技術を学びます。

	テキスト科目 テキスト教材を使った在宅学習授業。インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅でを行います。	オンデマンド科目(e-learning) インターネットにつながったパソコンを使って、画像や動画、音声などで構成された授業を受講し、確認テストや質疑応答を通じて学習します。小テストや科目修了試験も自宅で行います。 スクーリング単位として認定されます。	スクーリング科目 全国各地で開催される対面式授業を受講します。科目修了試験(レポート形式)はインターネット上から後日提出する必要があります。 ※地域によって開催される科目は異なります。	資格科目(演習・実習科目) 社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するための科目です。実習科目は現場への配属実習が必要となります。また「テキスト学習」と「スクーリング学習」の2つの学習形態を通じて学びます。テキスト学習は課題レポート等を作成する記述式の学習方法です。科目によって講師の添削指導があります。	
基礎科目	民法(4) 日本史(4) 生物学(2) 死生学(2) 経済学(4) 労働法(4) 福祉文化論(2) 社精 社会福祉調査論(2) 新1・2・全 学びの技法I(文書の読解と作成)(2) 学びの技法II(文書作成演習)(1)※3	必 福祉経営序論(1) 必 スタートアップセッション(1) 福祉社会入門(2) 実践英会話(2) 英語プレゼンテーション(2) インターネット演習I(2) インターネット演習II(2) 哲学(2) 法と人権(2) 居住福祉論(2) 子どもソーシャルワーク入門(2)	社精 医学概論(2) 社精 心理学(2) 社精 社会学(2) 必 社精 社会福祉原論(4) 必 教育心理学概論(2) 心 発達心理学(2)	社 フォローアップセッションI(効果的な学び)(1) フォローアップセッションII(実践的な学び)(1) 必 社 ソーシャルワークと専門職(2)	
科目群 ビジネス・マネジメント	経営学(4) 簿記(2) マーケティング(4) 財務会計(4) 管理会計(2) 経営組織と戦略(4) ベンチャー経営(4) 人的資源管理(4) 医療経済学(2) 医療福祉経営論(4)	必 医療福祉ビジネス(2) 福祉情報技術(2) A ファイナンシャルプラン作成(1) 必 社 福祉サービスの組織と経営(2) キャリア開発(2)	社精 日本企業の経営・会計(2) 社精 社会福祉法人のマネジメントと会計(2) 必 福祉現場の人材養成(2)(隔年開講:2025年度開講) 必 ユニバーサルデザインと暮らし(2) 必 福祉とテクノロジー活用(2) 必 福祉マーケットと経営戦略(2) 必 医療福祉サービス組織の人材マネジメント(2)	社 ソーシャルワーク演習I(2) ソーシャルワーク演習II(4) ソーシャルワーク演習III(4) ソーシャルワーク実習指導I(2) ソーシャルワーク実習指導II(4) ソーシャルワーク実習(5)	
科目群 コミュニティ・マネジメント	NPO論(4) 国際開発(4) 災害復興のための制度と法(2) 環境論(2) 精神医学からみたアディクション(2) 健康格差社会(2) 医療政策論(4) 必 医療・福祉サービス論(2)	国際福祉開発(2) 福祉社会開発の支援ワーク(1) ふくしと減災コミュニティ(2) 社 地域福祉と包括的支援体制(4) 日本の多文化(2) スポーツマネジメント(2) 社精 社会保障(4) 必 社精 ソーシャルワークの理論と方法I(4) 必 社精 ソーシャルワークの理論と方法II(4) 必 社精 ソーシャルワークの理論と方法(精神)(4) 社精 権利擁護と成年後見(2) 社精 刑事司法と福祉(2) 社精 保健医療と福祉(2) 精 精神保健福祉制度論(2) 精 精神保健福祉の原理(4) 社 公的扶助(2) 地域活動実践論(1)	社 社会福祉政策国際比較(2) 社 社会福祉と権利擁護(2) 必 医療福祉システムの理論と実践(2)(隔年開講:2025年度休講) 必 医療福祉制度と暮らし(2)(隔年開講:2025年度開講) 必 社会保障の制度と課題(2) 必 地域福祉と災害ソーシャルワーク(2) 必 単身世帯と社会政策(2) 必 障害者政策と自立支援(2) 必 多様なニーズに応える特別支援教育(2) 必 多職種連携実践(IPW)と多職種連携教育(IPE)の展開(2) 必 被災者支援と福祉防災に向けた実践演習(2) 必 エンドオブライフとソーシャルワーク(2) 必 地域活動実践演習(1) 必 児童虐待と社会的養護I(2) 必 児童虐待と社会的養護II(2) 必 子どもの福祉と戦争(2)	精 精神保健福祉士 演習・実習科目 ソーシャルワーク演習I(精神)(2) ソーシャルワーク演習II(精神)(6) ソーシャルワーク実習指導I(精神)(2) ソーシャルワーク実習指導II(精神)(4) ソーシャルワーク実習(精神)(5)	
科目群 ライフ・マネジメント	心 高齢者の心理(2) 心 産業組織心理学(2) 精 精神医学と精神医療(4) 精 精神保健学(4)	ヒューマンケアのための多職種連携(2) 認知症の医療とケア(2) リハビリテーション医学(2) 発達精神病理学(2) 精神障害者支援論(2) アディクションとソーシャルワーク(2) アディクション領域における経験者有する援助者の支援論(2) 必 社精 ソーシャルワークの基盤と専門職I(2) 必 社精 ソーシャルワークの基盤と専門職II(2) 社精 障害者福祉(2) 社精 高齢者福祉(2) 社 児童・家庭福祉(2) 精 精神障害リハビリテーション論(2)	心 心理学研究法(2) 心 心理検査法(2) 心 知覚心理学(2) 心 認知心理学(2) 心 学校心理学(2) 心 発達臨床心理学(2) 心 福祉心理学(2) 心 臨床心理学(2) 心 司法・犯罪心理学(2) 心 教育相談(2) 心 社会心理学(2) 心 消費者心理学(2)	心 精神障害者と福祉実践I(2) 心 精神障害者と福祉実践II(2) 心 精神・発達障害者の理解と共働(2) 心 ケアマネジメント入門(2)(隔年開講:2025年度休講) 心 認知症ケアと多職種連携(2) 心 認知症の人と地域包括ケア(2) 心 スクールソーシャルワークと学校現場(2) 心 司法と福祉の連携とソーシャルワーク(2) 心 アディクションと生きる社会を考える(2) 心 基礎から学ぶ発達障害の理解と支援(2)	心 心理学実験(4)※2 心 障害者スポーツ研究(2)※2
			心 論文・レポート作成基礎I(2) 心 論文・レポート作成基礎II(2) 心 研究論文指導(4)	心 研究論文指導I「論文・レポート作成基礎I・II」 自主的な研究を行いたい学生、論文の作成を希望している学生を対象として「研究論文指導」を開講しています。履修には指定された条件(履修前年度に行われる選考試験の合格)を満たす必要があります。 また、研究論文を作成するための導入科目として、研究の方法、論文の考え方や書き方などを講義する、「論文・レポート作成基礎I・II」(いずれもスクーリング科目)「社会福祉調査論」(テキスト科目)を開講しています。	

必 必修科目 **必** 選択必修科目 **新1・2・全** 新1・2年次入学生全員履修科目
社 社会福祉士資格指定科目 **精** 精神保健福祉士資格指定科目 **心** 認定心理士指定科目 **A** AFP認定研修指定科目
 ●()内は各科目の単位数を表しています。 ●諸事情により開講科目等が変更になる場合があります。

※1. **テキスト教材とオンデマンド授業**を併用する学習で、インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅で行います。単位の一部がスクーリング単位として認定されます。
 ※2. **オンデマンド授業とスクーリング授業**を併用する学習で、インターネット上からレポートを提出し、合格すると単位認定されます。
 ※3. 「学びの技法II(文書作成演習)」は、「学びの技法I(文書の読解と作成)」の単位を修得した2年次以上が履修できます。

地域学習会
学生のグループが、地域の特色や事情を生かして共通の学習テーマのもと、主体的に開催する学習活動です。通信教育部では、地域学習会開催の案内、企画や講師に関する相談、運営費補助などの支援を行っています。所定の要件を満たす地域学習会プログラムは「スクーリング(地域フィールドワーク)」科目として単位認定を行う場合があります。



「研究論文指導」
自主的な研究を行いたい学生、論文の作成を希望している学生を対象として「研究論文指導」を開講しています。履修には指定された条件(履修前年度に行われる選考試験の合格)を満たす必要があります。また、研究論文を作成するための導入科目として、研究の方法、論文の考え方や書き方などを講義する、「論文・レポート作成基礎I・II」(いずれもスクーリング科目)「社会福祉調査論」(テキスト科目)を開講しています。

「学びの技法 I (文書の読解と作成)」
大学生が、論理的な文書を読解する場合、作成する場合に必要なことがらを理解するための科目です。卒業必修科目ではありませんが、新1・2年次入学生は全員履修する必要があります。